

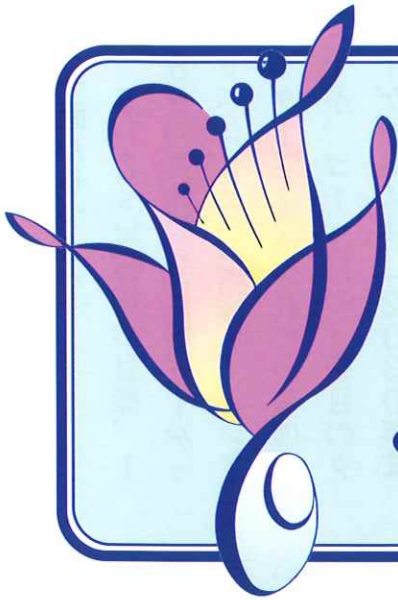
自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。(レビ記 19-18)
人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。(マタイ 7-12)

ひびきあい

HibikiAi

聖ヨハネ学園だより

発行：聖ヨハネ学園 〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1
TEL&FAX072-687-0548



福祉とSDGs



関西NGO協議会
事務局長
栗田 佳典

関西NGO協議会は関西を中心とした41団体のNGOから構成されるネットワークNGOです。助成や研修によるNGO支援や、政策提言、市民へのSDGs普及啓発活動などを行っており、SDGsについての研修を務める背景から本稿では社会福祉法人におけるSDGsの取り組みについて、お伝えします。

2022年4月、電通より発表されたSDGsに関する生活調査によれば、SDGs認知率は86%、「内容まで理解している」という回答は34.2%という結果

でした。

このような生活者の意識・行動の変容は企業の変革にもつながり、商品や広告等、至る所でSDGsの言葉を目にするようになりました。このような社会の動きがあるとSDGs達成のために、何か新しいことを始めなければいけないように捉えられてしまいますが、「もったいない」という価値観のように、これまで大切にしてきた考え方や行動を徹底すること、その行動を環境や社会を配慮した行動にするために工夫をすることがSDGs達成のために重要だと私は考えています。

2015年「国連持続可能な開発サミット」が開催され、SDGsが記載された「我々の世界を変革す

る…持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されましたが、そのアジェンダの前文には「誰一人取り残さない」という表現が記載され、SDGsの原則になっています。

その「誰一人取り残さない」という原則は、「社会福祉法人の理念に通じ、SDGsができる前から、社会福祉法人における誰一人取り残さない地域づくりは始まっていたと私は思います。(2面へつづく)



(二面からつづく)

SDGsは17個の目標、169の具体的な目標(ターゲット)、232の指標(インジケター)で構成されているのですが、ゴール11の3番目のターゲットには、「2030年までに、だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめる。」との記載があります。ここに社会福祉法人の存在そのものについても明記されていると私は考えています。

地域清掃、地産地消を進めること、そのための食育を進めていくこと、最安値ではなく、環境に良い備品を事業所内で使うこと、子どもの貧困対策、生きづらさを感じている方への支援、一人一人の尊厳を尊重したサービスの提供等、各事業、これまでの取り組みやそれに対する意識がSDGsに記載されている各目標につながっています。

SDGsは新しいことを始

めるための目標ではなく、これまでの想いと取り組みを再認識し、さらに環境や社会を配慮し、工夫を加えて進めていくためのきっかけを与えてくれています。さらにSDGsの認知が広がることは、誰一人取り残さない社会をつくるという共通の目標ができることでもあり、業種を越えた協働や、家族や地域、そしてあらゆる世代の連携強化につながるかと私は考えています。そのためにも社会福祉法人に関わる皆様には、地域において誰一人取り残さない持続可能なまちづくりをこれからも推進する存在であり続けてほしいと私は願っています。



●今号では、「SDGs」をテーマに、現場スタッフに聞いてみました。



児童養護ではSDGsについてのアンケートを行いました。名前は知っているもの、日常生活や職場での実践をすすめるまでには至っていない職員

が多かったです。ただ、ご利用者である子どもたちは学校の授業で聞いていた事も多くあり、よく知っていました。少し「知ってることある？」と聞くと、環境のことや人権のことなど、難しい言葉ではないものの「知ってるよ！」と答えてくれました。

NHKの歌を知っている女の子が歌ってくれることもあり、大人よりも子ども達のほ

SDGsのおぼえうた 17目標のおぼえうた

わたしたち地球に住み続けるためには
今の暮らし方を変える必要がある

だれひとり取り残さずに助け合うため
国連193カ国のみんなの声で生まれた目標



Sustainable Development Goals
SDGs 17の目標



貧困 飢餓 健康 教育 ジェンダー 水
エネルギー 経済 産業 不平等 街
つくる・つかう責任 気候変動 そして海 陸
平和と公正 パートナーシップ 2030年までの目標たち

世界は大きくて わたしたちは小さい
けれどその世界を 毎日変えている

わたしが変わったら 今日が変わったら
明日が変わったら 世界はつづく



Sustainable Development Goals
SDGs みんなでやろう

Sustainable Development Goals
SDGs ちから合わせ 2030年の世界を変えよう SDGs

NHK「SDGsをいっしょに学ぼう!ひろがれ!いろとりどり」SDGsのうたより

うが二歩も三歩も先を歩いていると感じました。職員でも少し話し合い、児童養護施設でやれることを少しずつ考えています。卒園後に貧困に陥ってしまふ子どもが少なくなることが話題に出たこともあり、「施設にいるうちに、仕事をする意味や人に頼ることを知ってもらおう。困った時に施設をはじめ、公共機関などを頼って持続可能な社会を作る一員になれるのではないか」という話になりました。

もちろん環境に配慮して電気の使い方や食べ残しを減らすなど、日々の工夫を子どもと共にやっていくこともしていきませんが、同時に職員として子どもの未来が輝くようなことにも繋げていきたいなと思っています。



下田部保育園

下田部保育園では年間テーマを決めて保育に取り組んでいます。今年は、出来ることから一歩ずつ前進する事を目的として、「やってみようSDGs」に決まりました。子どもたちが育つていく未来が、法人の理念「いのちが



SDGs わたしたちに出来ること

こんなゴミがあったよ

1. たばこライター
2. カン・ペットボトル
3. ふくろ
4. かみ
5. おかしのごみ
6. ゴム
7. マスク
8. でんち

☆かんそう☆
ちのしかつた
たいいんたつた
かんたん
いっばいとれた
あそくのたたいん

☆どんな
きもちになつた？
つれいいでいい
ここが、あそぶあそぶ
やさしいのたこまつた
やっつけてあげたい
あそぶのたたいん

☆どうしたら
いいの？☆
おちていから、ひろう
すてが
おしえてあげる

2022.5.9

かがやくために」と共に、明るく平和であるように挑戦しています。

毎月、SDGsテーマを職員会議で決定して取り組むことになりました。乳児組では、オクラやキュウリ等、様々な野菜を育て、ゴーヤで緑のカーテンもつくりました。幼児組ではSDGsについて絵本から興味を持ち、年長児は、散歩に出かけたが、ゴミ拾いをするようになりました。子ども達からは、『心が温かくなった』『やっていることが嬉しい』『地域の人に「ありがとう」と声をかけられ、優しい人に気づいた』『人に優しくする』との思いが聞けました。また、運動会の衣裳は玉葱の皮で不要のTシャツを染めました。子どもたちは、「実験みたい」と興味津々で取り組む事が出来ました。まだまだこれから、取り組みは続きますが、SDGs

そのもの大切さや必要さは子どもに伝わっていますが子どもたちの未来に繋がっていると実感することが出来ます。今後の行事、作品展に向けSDGs 17の項目を、楽しく一緒に取り組んでいきたいと思えます。



ミス・ブル記念ホーム

ミス・ブル記念ホームではSDGsへの取り組みとして日頃から紙の使用量や電気使用量の削減など、日常的なエネルギー削減に取り組んでいます。現在は社会福祉法

人として、高齢者施設として、地域で安心して住み続けられる活動への取組に力を入れていきたいと考えています。

コロナ禍になる前には、地域の方が交流する場を作るという目的で「地域の食事会」を開催し、「アロマセラピー」や「福祉用具」など毎回テーマに沿った体験の機会や、施設の食事を味わっていただく機会を提供していました。その際、施設がある高槻北部地



域は坂道が多く、高齢の方には生活面での大きな問題となっているため、施設職員が参加者の送り迎えをするということもありました。コロナ禍

となり外出を控える方や宅配サービスを利用される方が増え、外出の機会が以前よりも減っているために身体機能が低下し、介護を必要とする人が増えているとも言われます。そのため、現在、施設としては地域の方が気軽にスーパーマで出かけられるよう地域の中にバスを走らせることができないかと検討しています。世界に向けての大きな取り組みはできませんが、地域の方を縁の下で支え、安心して住み続けることができるよう地域の中の高齢者施設として努めていきたいと思いません。



平成元年に設立された高槻市立障がい者福祉センターは、高槻市に於ける障がい福祉の拠点として、YOU&I、友愛の意味も込めて「ゆうあいセンター」という愛称が名づけられました。

そのなかでも聖ヨハ



ゆう・あいセンター



ネ学園はデイサービス、相談支援、講習会やイベントの開催などの事業を高槻市より委託されています。

行政事業を受託する中では、SDGsの目標と合致する内容も多く、受託事業の中での様な取り組みが出来るのか考えてみました。

コロナ禍における工夫として、福祉講演会のオンライン配信を試みました。そうすることでセンターに来られた人だけでなく、沢山の方々に対して情報発信が出来るので、3..すべての人に健康と福祉を、4..質の高い教育をみんなに、5..ジェンダー平等を実現しようなどの目標に向けた取り組みにつながります。

また、Instagramのアカウントを開設し、市民に向けてセンターの取り組みを発信したり地域のお店や他事業所の方のフォローを行い、様々な情報をシェアする事に

より、11…住み続けられるまちづくりを、17…パートナーシップで目標を達成しようという目標にも取り組んでいます。

SDGsは国連で採決された取り組みで、一個人にとっては馴染みが薄い気がしますが、ゆうあいセンターのご利用者、行政職員、団体職員の方々と楽しみながら、目標達成の一助となる取り組みを行っていきたく思います。



うの花療育園

今年の夏、株式会社明治さんから、高槻市を通して、ありがたいお申し出がありました。

それは、「販売できずに余った商品を、無料で提供します」という、SDGsの一環の取り組みでした。

7月に開始してから今まで、牛乳をはじめ、ヨーグルト、菓子類も、数回に渡り提供していただきました。

牛乳は『オーガニック牛乳』。おやつを提供場面では、「おいしい」と子ども達の飲む量が増えています。

給食のメニューの材料としても使わせていただき、「ポタージュスープ」「ひき肉とマッシュポテトの重ね焼き」「ハンバーグ」で大活躍。10月から始まった『親子クッキ

ング』のメニュー、アレンジフルーツでも活用しています。

給食のデザートやおやつでは、ヨーグルト・飲むヨーグルトを美味しくいただきました。

また、園児全員に「飲むゼリー」を持ち帰っていただいたり、3年ぶりに開催した『うの花療育園まつり』で、卒園児にスナック菓子「カール」をお土産として渡すことがで



きました。
美味しい物の提供を受けることが、SDGsの協力に繋がるといふ、素敵な活動に感謝です。

地域生活支援センター光

地域生活支援センター光では電力のデマンド監視装置の導入を始めた平成30年以降、電力の省エネ化に取り組み、これまでに38tものCO₂削減に成功しています。そして今夏にはご利用者の居室エアコンを高効率の物に交換しました。これまでに以上のCO₂の削減と環境保全にも寄与し、7番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」へ繋がっています。
また女性職員の産休・育休の100%取得、法人初の男性職員の育休取得、3名の障がい者雇用、オンライン会議・研

修の推奨など、8番「働きがいも経済成長も」という点で人財不足が続く介護業界に必要な取り組みをおこない、職員の満足度や働きがいを高めることに注力しています。

施設として各項目において現在も取り組んでいるもの、今後目指すものはまだまだ多くあります。それらの例としてご利用者の自立を助けるための生活支援、女性管理職の割合の増大、より環境にやさ



しい素材の使用が考えられます。また、ICT機器の更なる活用、職場環境や待遇面の改善等があります。

そして最も重要と考えるのが17番「パートナーシップで目標を達成しよう」です。

我々の事業は地域との連携、支えなしには成り立ちません。近隣住民や学校、ご利用者・ご家族、他の福祉事業者、病院、行政など様々な方との連携や繋がりから「すべての



人々が心通い合う社会」の実現に向けて今後もSDGsの取り組みを一層推進していきます。

聖ヨハネ 子どもセンター

当センターでは、SDGs

の理解と今後の取り組みの具体化を目標に全職員を対象に啓発動画と資料の視聴及びアンケートを実施しました。結果は、SDGsを知らない方は0%でしたが、内容を知っている方と知らない方の比率は、ほぼ半々でした。17項目全てにおいて、「個人や業務でできていること」「これかからできること」について多くの意見が挙がり、動画やアンケートを通して理解が深まったこと、普段から見直す機会と新たな角度から見直す機会となりました。

また、結果を共有したことで、他の職員がしていることを参考に意識できることや実践することも増えています。

「すべての人に健康と福祉を」は、お子さんの療育やご家族の相談はもとより、その土台となる感染対策や職員自身の健康維持に関する意見が多く見られました。

また、「ジェンダー平等」は、保護者を「お母さん」ではなく苗字で呼ぶこと、お子さんを基本に、お子さん自身に対しては、保護者に確認をとって考える等の検討も行っています。紙等の資源や廃棄物の削減、IT化の推進、職員のやりがいや災害対策等も話し合いながら、更により支援が提供できるように努めると共に、各施設の取り組みが法人全体の魅力の発信にもつながっていくのではないかと考えています。

理事長 田尻忠邦

社会福祉法人の新米理事長として、勉強の日々を送っていますが、書類に目を通すだけでは限界があります。時には、各施設長との面談の中で、それぞれが抱えている喫緊の課題を把握するようにしています。また、今年度から、各施設の主任会議やリーダー会に陪席するようにして職員のみなさんの生の声を聴かせていただく機会を設けるようにしました。未だ、全ての施設の会議体に陪席したわけではありませんが、仮に1巡したとしても、それに満足することなく、2巡目、3巡目と継続していきたいと考えています。

今年度における新たな試みとして、新人事評価制度の導入、ICTと人事プロジェクトチームを立ち上げて年間5回の会議を持ち、次年度へ向けての答申案を提出してもらうこと、12月に臨時理事会を召集して、各施設長から事業規模拡大案または、新規事業案の発表会を持つことなどがあります。すでに新人事評価制度は半年の試験運用を経て、10月から本格的な運用がなされますが、その狙いは、法人そして各施設が、理想とする職員像を明確にするとともに、評価基準も明確にすることで、マインスマイルをすることなく、頑張っている人には、その分を賞与に反映させるようにしています。現時点では、法人正職と施設正職しか評価の対象になっていませんが、将来的には、全ての職員を対象に実施していきたいと考えています。各リーダー、主任の皆さんには、一次評価者の役割を担っていただいています。評価面談に時間がかかり過ぎ、時間外勤務をせざるを得ない状態は、働き方改革を推進している法人全体の流れに逆行しているのではないかと意見

も頂戴しています。この点については、内容の似通っている項目は整理するようにして目標設定項目の数を減らすようにしています。

また、各施設長の評価は、理事長である私がすることになっていきますが、数値目標(KPI)には、「予算達成率」、「業務改善件数」、「後援会会員数を増やすための取り組み」の三つの項目があります。三番目の後援会の会員登録の呼びかけが業務命令にあたるのではないかとこの物議を醸しました。しかしながら、上位職から下位職に対する寄付のお願いは、業務命令に当たるが、後援会会員の呼びかけは、業務命令に当たらないという線で引きをすることにしました。まず、正職、非正職の区別に関わらず、後援会の存在、そしてその活動について知らない職員がいるのではないかとこのことです。そのような人たちに後援会について良く知ってもらう事と直接寄付のお願いをする事とは違ふと考えます。

現在、聖ヨハネ学園の後援会会員の多くは、日本聖公会大阪教区の各教会の信徒のみなさんです。それらのみなさんが、会員になられた理由は様々だと思えますが、共通して言えることは、聖ヨハネ学園の尊い働きに共感していただいたからだと思います。言わば、聖ヨハネ学園の応援団、ファンクラブのような存在です。しかしながら、聖ヨハネ学園の後援会会員になつたとしても、何の特典もありません。強いて言うならば、「後援会だより」が送られてくるだけですが、でも、野球や人気タレントのファンクラブのような特典が無くては多くの後援会会員がいらつしやるという事実を私たち職員はどう受け止めるべきでしょうか。私たち職員は、各施設の為に一生懸命仕事をしているから応援していただいているからでしょうか。私は理事長として、社会福祉法人聖ヨハネ学園の一体感を持っていただくことを訴えてきました。何故、今も聖ヨハネ学園で仕事をしているのか。「これからも聖ヨハネ学園で仕事を続けたいのか。」それは、「聖ヨハネ学園が好きだから。」だったら、後援会会員として聖ヨハネ学園に繋がってみませんか。

◎チャプレン室からのたより

言(ことば)が肉となつた(ロゴス・キリスト)

神に栄光、地には平和

主イエス・キリストのご降誕をお祝いいたします。

司祭 ショーシ林 正樹

学園創始者リーラ・ブール宣教師の心と働きを原点に大阪聖ヨハネ教会で130年間続けて来ましたチャリテイ・バザーは、マザー・テレサの言葉「ともに力を合わせれば、素晴らしいことができるのです。」に勇気を与えられて手作り品や日用品中心の常設バザーを今年も継続実施しゆたかな収穫を得ることができました。感謝の心を込めて、聖ヨハネ学園・児童養護施設のささやかなプレゼントにその実りを献げることができましたことを感謝いたします。

聖書に書かれたクリスマス記事の一つのことを語っています。それは、神様がこの世に、しかも、最も低いところに、最も低い存在として来られた、という事です。貧しく、低く、悩み、虐げられ、差別され、疎外された人々のところにイエス様は来られたということです。羊飼いに真つ先に知らされたク

リスマスの出来事は、かけがえない自分の価値に気づかせてくれます。それが、私たちに対する最高のクリスマス・プレゼントなのです。

今年25日が日曜日に当たると、本来のクリスマス(降誕日)にクリスマス礼拝を行う教会がほとんどと思われます。聖ヨハネ学園の属する英国教会にルーツを持つ日本聖公会の教会暦(カレンダール)では、またまたイエス様の誕生にちなむお祝いの日は続きます。年が変わり1月1日には、「主イエス命名の日」、6日「顕現日(エピファニー)」、11日「主イエス様が神としてこの世に顕れた日」、かつて日本聖公会ではこの日を現異邦日と読んでいたそうです。9日「顕現後第1主日・主イエス洗礼の日」と主イエス様を覚える大切な日が続きます。

ヨハネによる福音書第1章1節から18節まではヨハネによる

福音書全体に対するプロローグ(序文・前置き)と呼ばれています。それに対して、エピローグ(しめくくり)が第20章の終りに書かれています。新約聖書(新共同訳・共同訳聖書)では、見出しが「本書の目的」となっています。「これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じているためであり、また信じて、イエスの名によって命を受けるためである」(共同訳20:31)とあります。

ヨハネによる福音書が書かれたのは、クリスマス之夜ベツレヘムの馬小屋(家畜小屋)で誕生したイエス様は、神の子であり、救い主であり、神そのものであると信じることによって、神様があなたがたを滅びの命から復活の命に生まれ変わらせるためであるということが言えます。これが、クリスマス(主イエス様のご降誕)を祝う、私たちの信仰でなければなりません。

「初めに言(ロゴス)があった。言は神(キリスト)と共にあった。言は神であった」。天地のはじまりと共に存在し、神そのものである言葉(ロゴス)は、滅び去る人間の言葉ではなく、創造し、支配し、完成する言葉であって、

それがベツレヘムに生れた神のみ子イエス様(イエス・キリスト)であるというのが、ヨハネ福音書が告げる「クリスマス・メッセージ」です。

最後にこのヨハネ福音書の言葉に励まされ、新たな年を迎えたいと願ひ祈ります。

「光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった」

神に栄光、地には平和 (共同訳1:5)

社会福祉法人 聖ヨハネ学園 (法人本部)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 TEL&FAX 072-687-0548

- 聖ヨハネ学園 (児童養護施設)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-687-0541 FAX 072-689-3623
- 下田部保育園 (保育所)
〒569-0046 高槻市登町1番1号 ☎ 072-671-9960 FAX 072-673-8039
- ミス・ブール記念ホーム (特別養護老人ホーム/デイサービスセンター/ケアプランセンター/ヘルパーステーション/地域包括支援センター/エンゼル園)
〒569-1031 高槻市松が丘1丁目21番9号 ☎ 072-688-5138 FAX 072-688-4478
- ゆう・あいセンター (高槻市事業受託/地域活動支援事業Ⅱ型・特定指定相談支援事業)
〒569-0075 高槻市城内町1番11号 ☎ 072-672-0267 FAX 072-661-3508
- うの花療育園 (高槻市指定管理者事業・児童発達支援センター)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番5号 ☎ 072-685-3803 FAX 072-685-3805
- 地域生活支援センター光 (障がい者支援施設/放課後等デイサービス)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-680-1110 FAX 072-691-8300
- 聖ヨハネ子どもセンター (高槻市乳幼児療育事業受託/児童発達支援/放課後等デイサービス事業/障がい児相談支援事業)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-687-7720 FAX 072-687-7722